

小さく生まれた赤ちゃんに
起こりやすいこと

生まれた時の体重が2,500g未満の赤ちゃんを低出生体重児、1,500g未満を極低出生体重児、1,000g未満を超低出生体重児といいます。また、予定日より早く生まれ、お母さんのお腹の中にいた期間が37週未満の赤ちゃんを「早産児」といいます。

脳

血管にもろい部分があったり、血流調整が未熟なことがあったりします。

感染

お母さんから十分に抗体をもらっていないため、感染に弱い傾向があります。

心臓

心筋が未熟であったり、出生後閉じる動脈管がなかなか閉鎖しないことがあります。

肺

肺が膨らみにくく、呼吸が速かったり、酸素や呼吸器が必要になることがあります。

血液

黄疸が進行しやすいったり、貧血になることがあります。

体温

体温調整が未熟で低体温になりやすいです。

体の機能が未熟で医療的ケアが必要であったり、発達もゆっくりであったりしますが、同じ早産児でも、経過はその子その子でさまざまです。起こりやすい症状や成長の見通しなど、医師や看護師に相談してみましょう。

RSウイルス感染症について

RSウイルスは、乳幼児期に呼吸器感染症を起こす原因ウイルスのひとつです。2歳までにほとんどの子どもがRSウイルスにかかると言われています。大人の場合は軽い風邪の症状のみでおさまりますが、乳幼児期早期に感染すると重症化し急激に重い肺炎や気管支炎を起こし入院が必要となることがあります。今のところRSウイルス感染症に有効な治療薬はありません。

特に重症化しやすいとされている赤ちゃん(早い妊娠週数で生まれた赤ちゃん・生まれつき心臓の病気がある赤ちゃん・免疫不全症やダウン症候群の赤ちゃん)では、RSウイルスが流行する時期に重症化を防ぐために、シナジスという注射を行う方法があります。

通常の予防接種は体の中で抗体が作られるよう誘導しますが、シナジスはRSウイルスに効果がある抗体成分を精製したものを注射し、効果は約1か月です。そのためRSウイルスが流行する時期は毎月注射を行います。なお、他の予防接種と同時接種することも可能です。RSウイルスの流行期は人込みをさける、手洗いやうがいをこまめに行うなど、ご家族がなるべく風邪をひかないように気を付けてお過ごしください。



よくある質問Q&A

暦月齢ですの？修正月齢ですの？

予防接種



生まれた日からの月齢(暦月齢)で予防接種を受けることが勧められています。赤ちゃんの体調によってはスケジュールどおりにならないこともあるので、かかりつけ医と相談のうえ、進めていきましょう。

乳幼児健診



成長・発達の確認だけでなく、さまざまな情報提供が行われたりする場となります。健診は、市町村から発行された乳児健診票や、かかりつけ医の先生からの指示により受診しましょう。

離乳食の 進め方



離乳食の開始は修正月齢を参考にしながら、お子さんの発達とともに食べる機能(飲みこんだり、かんだりする力)をみながら離乳食をはじめましょう。食べる機能は個人差があります。かかりつけ医と相談しながら、焦らず進めていきましょう。

医療費が心配…。

「未熟児養育医療」「子ども医療費助成」などの医療費の助成を受けられます。

ほかにも「妊産婦医療費助成」や「小児慢性特定疾病医療費助成」の申請など、詳しくは病院の医療ソーシャルワーカーや申請先の市町村や保健所へご相談ください。県のホームページでも紹介しています。

●未熟児養育医療



●子ども医療費助成



●妊産婦医療費助成



●小児慢性特定疾病医療費助成



赤ちゃんの成長・発達が気になる…。

子どもの成長には個人差がありますが、お座りや歩行、発語がゆっくりなど発育、発達について不安や心配なことがあれば、かかりつけ医やお住いの市町村の相談窓口へ相談しましょう。市町村の相談窓口については次ページから確認することができます。

困ったときの相談先

●育児不安や子どもの発達に関する相談など

市町村母子保健担当窓口及び保健所を以下のホームページから確認できます。

(自分の市町村母子保健担当の連絡先)



電話番号：

担当者：

●心の健康に関する相談

市町村母子保健担当窓口及び保健所のほか、次の機関も相談に応じます。

名称	連絡先
岩手県福祉総合相談センター 障がい保健福祉部 こころの電話相談	TEL：019-629-9600 (代表) TEL：019-622-6955 (専用ダイヤル)

●子どもの急な病気などについての相談

夜間における子どもの病気への対処や応急処置などを相談できる窓口です。子どもの急な発熱、嘔吐、下痢、腹痛、薬などでわからないことについて、経験豊かな看護師さんがアドバイスしてくれます。

名称	連絡先
こどもの救急相談電話 (受付時間：午後7時～午後11時)	TEL: 019-605-9000 (または#8000) ※ダイヤル回線電話、IP電話をご利用の方は、 #8000からはご利用できません。
こども夜間ケアダイヤル (受付時間：午後11時～翌朝8時)	TEL: 019-605-9000 (または#8000) ※ダイヤル回線電話、IP電話をご利用の方は、 #8000からはご利用できません。

●救急の場合などに医療機関を探すサービス

「休日診療の医療機関」、「救急病院」、「薬局情報」の検索サービスは、インターネット対応の携帯電話からも利用できます。

名称	連絡先
いわて医療ネット	インターネットホームページ http://www.med-info.pref.iwate.jp/

電話相談時、受診時のポイント

ポイント1：伝えること

「困っていることは何か」を簡潔に伝えることが大事

例) 「38℃以上熱がある」
「ひきつけをおこした」などの症状を伝える。

※一番心配なこと、一番聞きたいことを明確しておく。
(メモしておくとうい)

ポイント2：受診時に持参するもの

リトルベビーハンドブック、母子健康手帳、保険証、お薬手帳、
乳幼児医療費助成金受給資格者証、おむつ、飲み物など

ポイント3：受診時の行動

これまでの治療や退院時の様子がわかるページを見せる。

・飲んでいるお薬があれば持参する。
(説明書やお薬手帳でもよい)

さらに詳しく知りたい方は以下のWEBサイトをご覧ください。

はじめてのNICU (ATOM MEDICAL)

小さく早く生まれた赤ちゃんの育児で、
お悩みのご家族に役立つ医師監修
のサイトです。



Small baby.jp (AstraZeneca)

在胎37週未満で生まれた早産児と、
保護者のための情報が満載の早産
育児ポータルサイトです。



<https://www.small-baby.jp>

家族会の情報

岩手県

リトルベビーサークルいわて めんこいわらしっこ

低出生体重児で生まれたお子さんを育てる家族のための交流サークルです。LINEでの情報共有、対面&オンラインでの交流会を実施しています。周りの人には悩みを打ち明けることができなくて、孤独を感じることもあると思います。今いるママさんたちが体験談をたくさんお話してくれたり、ママさんの体を心配してくれたり、気軽に相談できる場を用意しています。ご興味がある方は、インスタグラムまたはLINEでのご連絡をお願いします！



LINE



全国

日本NICU家族会機構 (JOIN)

全国の子ども(特にNICUに入院する子ども)と家族、家族会をつなげるネットワークです。全国の家族会情報をはじめ、小さく生まれた子どもとその家族が、NICU退院後も安心して過ごせる社会を目指し情報発信をしています。

● ホームページ

<https://www.join.or.jp/>

